

いきいき シルバー沼津

令和2年10月15日

第91号

(公社)沼津市シルバー人材センター
〒410-0867 沼津市本字千本1910番地の206
千本プラザ内
☎055-964-1153・FAX055-964-1156
<http://triton.dataeast.jp/~numazu-sjc/>
E-mail numazu.sjc@theia.ocn.ne.jp



柿田川湧水群全景（沼津市提供）

ぬまづの宝百選から

泉水源地

日本三大清流の一つに数えられる柿田川。

「泉水源地」は、東洋一の湧水と呼ばれる柿田川湧水群のひとつで沼津市の水道の最大の水源地。

昭和25年から給水が開始され、日本の名水百選に選定された良質で豊富な湧水から、1日6万トンが取水され、沼津市と清水町の約15万人の暮らしを支えている。

おもな内容

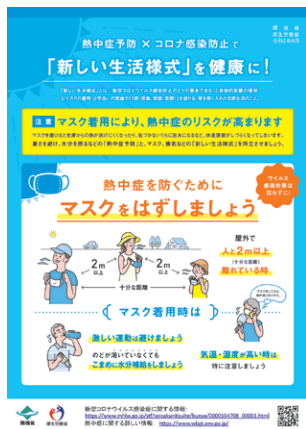
- | | |
|-----------------|-----|
| ・安全就業・就業現場巡回点検 | 2 |
| ・草刈作業アンケート調査結果 | 3 |
| ・理事会活動・ボランティア活動 | 4 |
| ・理事長挨拶、センター組織体制 | 5 |
| ・いきいきプラザ | 6.7 |
| ・センターからのお知らせ | 8 |

会員数 合計 1,132人(R2.9末現在)
男 782人 女 350人

事故が多発
昨年同期を超えるハイペース

今年度の当センターの事故は、昨年同期を上回るペースで発生。傷害事故は6件（強風や雨で足を滑らして転倒して骨折3件、草刈機の刃と接触して切傷2件、階段を歩行中の肉離れ1件）。加齢による体力と集中力の低下を自覚し、過信せずに常に注意を怠らない。損害賠償事故は4件。（草刈り事故3件と建具取付けの不備1件）。原因の多くは、現場の確認不足と防護対策の不徹底。注意と対策で事故を起こさない工夫と努力を。

今夏は、記録的な暑さが続き連日高温注意情報が発表された。このため、新型コロナウイルス感染予防と併せて熱中症に注意する啓発チラシを会員に配布した。



安全就業への取り組み（安全管理委員会）

安全管理委員会は、7月の「安全・適正就業強化月間」に就業現場のパトロールを実施。作業点検表にもとづく就業状況や安全対策の確認を行い、会員と事故防止の意見交換を行った。

- ◇草刈り 事前の埋設物、草陰の構造物等の確認、飛び石防止対策、保護帽の着用、作業者間の保安距離の確保他
- ◇植木剪定 保護帽・安全帯の着用、脚立の安全使用、剪定用具の点検整備他



草刈り（杉崎町2号公園）



草刈り（千本公園）※飛び石防止板使用



植木剪定（原）



草刈り（町中公園）



草刈り（門池公園）

草刈作業に関するアンケート調査結果

安全管理委員会は、草刈機による事故防止対策の検討資料とするため、草刈作業会員へのアンケート調査を行った。主な回答は下記のとおり。

調査対象者 141名、回答者 109名、回答率 77.3%

回答者の年齢 70歳未満 28名(27.5%)、70～74歳 40名(38.8%)、
75～79歳 28名(27.5%)、80歳以上 7名(6.8%)

問1 草刈作業の経験年数

1年以下	2～4年	5年以上	計
4 3.9%	20 19.4%	79 76.7%	103 100.0%

問2 年間の草刈作業回数

5回以下	6～9回	10回以上	計
5 5.3%	8 8.4%	82 86.3%	95 100.0%

問3 草刈機の事故を起こしたことがありますか

回答数 199

	無し	有り			合計
		1回	2回	計	
飛び石事故	82 81.2%	17 16.8%	2 2.0%	19 18.8%	101 100.0%
埋設物等の破損事故	92 93.9%	6 6.1%	0 0.0%	6 6.1%	98 100.0%
計	174 87.4%	23 11.6%	2 1.0%	25 12.6%	199 100.0%

問4 事故発生時の安全対策の有無

回答数 19

安全対策をしていた	安全対策をしていなかった
7 36.8%	12 63.2%

問5 安全対策をしなかった理由

回答数 27

大丈夫だと思った	面倒だった	急いでいた	これまで無事故だったから	その他
12 44.4%	1 3.7%	2 7.4%	6 44.4%	6 22.2%

問6 これからの草刈作業は？

回答数 112

安全対策を行う	安全対策はしない	その他
109 97.3%	1 0.9%	2 1.8%

問7 草刈機の事故を無くするためにはどうしたらいいと思いますか。

- ・基本的な安全対策を守る。防護ネットを必ず使用。時間が掛っても慎重に作業する。
- ・作業前に現場を確認。危険個所には目印をつけ作業方法を打合せる。
- ・全員対象の安全管理講習会を開催。あせらない、あわてない、無理しない。
- ・草刈は危険な作業と認識する。一人作業は行わない。安全監視員をつける。他

問8 損害賠償金（修理代金）の自己負担について

回答数 109

ある程度ならやむを得ない	賠償金の10～50%程度	自己負担はしない	その他
43 39.4%	9 8.3%	46 42.2%	11 10.1%

問9 その他の意見、要望

- ・防護ネットの貸与を希望。草刈講習会の回数を増やしてください。
- ・随時、安全管理情報を出して、注意喚起したらどうか。
- ・職員は、会員に依頼する前に下見をして、安全に作業が出来る場所か確認してほしい。
- ・これまでの経験や資格を生かした仕事や社会貢献活動をしたい。

理事長挨拶



廣瀬 勝繁

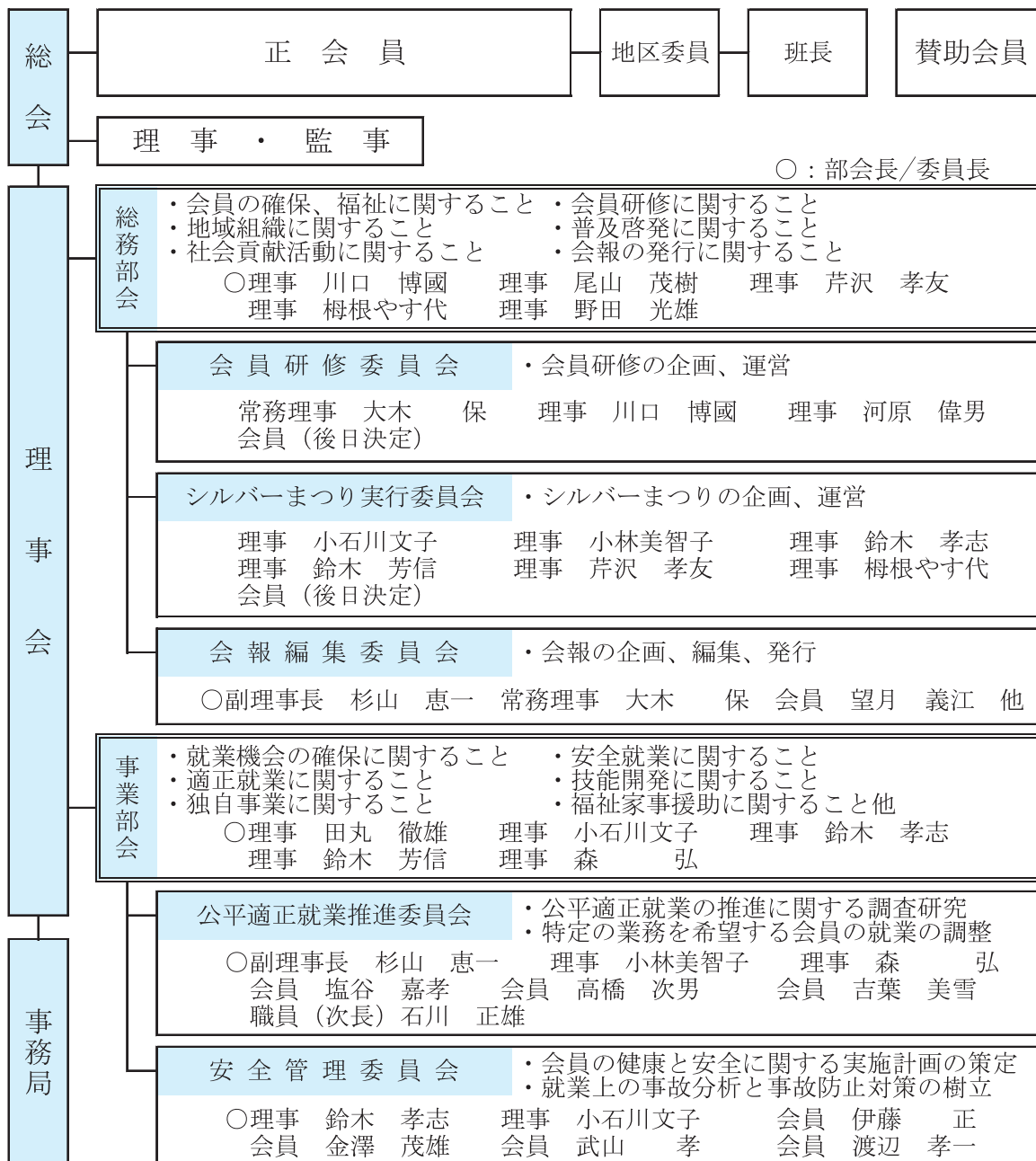
当センターは、設立以来、高齢者の経験や技能、生活の知恵などを地域に提供し、老年期の積極的な生きがいの充実と社会参加の推進を目的に活動してきました。

この間、国の事業仕分けや公益法人制度改革、高齢者雇用安定法の改正等のセンターを取り巻く変化に対応するため、財務体制の強化や公益法人への移行による公益性の向上、派遣事業の導入などに取り組んでまいりました。

超高齢化、労働人口の減少、人生100年時代の到来等の社会構造の転換期を迎える現在、センターの役割は大きくなってまいります。

今後も、会員数の拡大、就業機会の確保、地域組織の活性化などの課題に向き合い、地域社会の担い手として信頼されるセンター運営に努めてまいりますので、会員の皆様のご協力をお願いしますとともに、新型コロナウイルス感染症防止に留意され安全な生活が営まれますようお願い申し上げます。

公益社団法人沼津市シルバー人材センター組織図 (令和2年10月1日現在)



理事会活動

令和2年度第3回理事会

令和2年7月17日（金）

議事

○センター理事会専門部会に属する理事の指名

報告事項

・正会員の入会
・事業実施状況他

令和2年度第4回理事会

令和2年9月24日（木）

議事

○センター事務局職員就業規則の一部改正

○センター臨時職員の勤務条件に関する要綱の一部改正

協議事項

・振興計画
・設立40周年記念事業

報告事項

・正会員の入会
・事業実施状況他

部会等活動

○総務部会（8/5・9/16）

○事業部会（8/18）

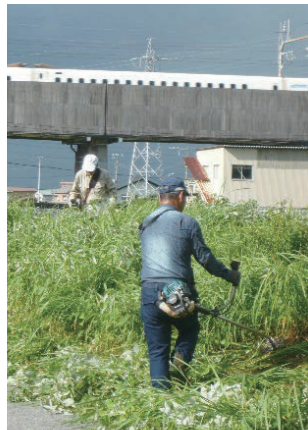
○安全管理委員会（7/31・8/21）

地区活動

愛鷹西地区ボランティア活動（9/3）

高橋川左岸堤防の草刈りを「柳沢あけの会」と合同で実施。あしたかの宝100選の「彼岸花」の開花に間に合わせようと汗を流した。

参加者6名（鳥谷）鈴木孝志、（東原）大島文弘、（以下柳沢）小野正之、小野實、杉浦靖基、渡辺和男



野菜づくりボランティア活動



5年目を迎えた野菜づくりボランティア活動。5月に植え付けた約500本のサツマイモ苗は順調に成長。収穫後は社会福祉施設他に寄贈予定。

福祉・家事援助事業

福祉・家事援助事業は、高齢者等の世帯で室内の清掃や洗濯、病院への付き添いなどを行うサービス。令和元年度は、57人の会員が約700件のサービスを行った。

会員から「家事仕事は慣れている。喜ばれてやりがいがある。」などの感想が、依頼者からは「仕事が出ていい。感謝しています。」などの声が寄せられている。就業希望の方、詳細を知りたい方はセンターまでご連絡ください。

□今後の講習予定

○健康講習会（12/11（金））

講師 武井 章子氏（NPO法人国際保健技術学会理事）

内容 身体の「要」の腰を鍛えるストレッチと食事法

定員 10名

○体操講習会（1/26（火））

講師 小泉 敏枝氏（ウエルネス マネージャー）

内容 運動不足解消、体力アップの筋トレとストレッチ

定員 10名

○片付けセミナー（3年2月）

講師 西川 明美氏（ライフオーガナイザー）

内容 収納、整理のアイデア

定員 13名

※詳細は広報ぬまづに掲載します。



草刈機扱い特別講習（案内）

会員対象の講習会を開催します。まだ受講していない草刈従事会員は必ず受講してください。

受講後、修了証を交付します。

月日 11月25日（水）

場所 高齢者就業センター

内容 講義、実習

講師 農業機械整備技能士

定員 15名（先着順）

受講料（テキスト代）千円

申込先 センター



二胡に魅せられて

(門池)
鈴木 光子

中国の伝統的な楽器の二胡(こ)を始めてから10年以上になります。きっかけは、友達と行った二胡の演奏会。初めて聴いた生の柔らかなくて哀愁のある音色に感銘。すっかり魅せられ、間もなくして教室に入会しました。

姿勢や二胡の構え方から運弓、押弦などの基本から教わります。もちろん初めからいい音は出せません。技量の習得はもちろん、気持ちを集ませないと思いつける音が出ないのです。

月2回、約3時間の練習と自宅での復習を繰り返しました。難しいところは先輩たちも教えてくれます。苦しんだ曲は何度も練習、マスターできると快感です。

習い始めてから2年後、演奏会にデビューしました。その日は身内や友人が聴きに来たことに自信の無さが加わり、足が震えて、皆の顔も見余りなほど上がってしまいました。

4年前に会社経営者、農業、看

護師、元教師などの男女8人でバンドを結成しました。

楽器は二胡のほか、キーボード、ハーモニカ、ギターなど。レパートリーは童謡、唱歌やリクエスタの多い歌謡曲の約90曲です。

病院や高齢者施設、ホテル、同窓会などいろいろなところで演奏します。2年前からシルバーマトリックに参加しています。

演奏に合わせて皆さんと合唱します。懐かしい歌や知っている曲では歌声が大きくなります。

「昔、恋人とデートした頃を思い出してちゃった」。目を輝かして話してくれた笑顔は乙女のように輝いて見えました。

ずっと怖い顔をして聴いていた男性に声を掛けると、子供の頃に父親が教えてくれた歌で嬉しかったよとポツリとひとこと。喜んでもらえてほっとしました。

車いすの女性が天井を見上げて「あーあー」と高い声をあげていたことがありました。「とてもいい声で歌ってくれてありがとう。私よりお上手ね」と言うと、私の目を見てにこっと笑いました。心と心がつながった気がしました。

帰るときには、握手をされ、元気で待っているからまた来てね

と、言われます。これからも心に響き、喜んでいただけるような演奏を心がけたいと思います。趣味でもなんでも目標があると毎日が充実して過ごせます。相手を思いやり、明るく楽しく輝く人生を大切に生きていきたいと思えます。愛を込めて演奏すると感動していただけます。まさに愛は愛を呼ぶのです。



私の元気の源

(大岡西)
新井 勇次

シルバー会員に登録して5年になります。

現在の仕事は、公園の管理です。子供たちが安心・安全に楽しく遊

べるように遊具の点検や草刈り、樹木の管理や清掃を行います。

私は、若い頃からスポーツ観戦が好きで、暇を見つけて高校野球やプロ野球、Jリーグなどの観戦に行っていました。

Jリーグでは、清水エスパルスのチーム発足当初にクラブ会員になりました。ホームでの試合には朝早く家を出て、良い席で観戦できるよう順番取りをします。

サポーター仲間と選手の話やチームの情報交換するのも楽しみです。サポーターは子供から高齢者まで、家族連れや女性も多く、チームのユニフォーム姿でスタンド席を埋めると一体感を感じます。以前は個人後援会に入っていました。毎試合仲間と大声で応援したり、好プレーやゴールを決めたときの歓声はとても迫力があり、こればかりはスタジアムでなければ味わえない感動があります。

特にジュビロ磐田との静岡ダービーは一段とヒートアップします。今シーズンの対戦はありませんが、来シーズンの静岡ダービーの復活を楽しみにしています。

アウエーの試合には応援バスで北海道から九州まで行ったこともあります。相手チームのスタジア

ムに入る気分は何とも言えません。試合観戦だけでなくチームの練習日には三保まで見学に行くこともあります。緊張感のある試合とは違うリラククスした選手たちの一面を見ることが出来ます。

そこでの楽しみは、練習後の選手と話をしたり一緒に記念撮影をしたりサインをもらうことです。

エスパルスの選手はとても気さくな人ばかりです。家にはたくさんサインが飾ってあります。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大でさまざまなスポーツイベントの中止や開幕が遅れました。

開幕したJリーグも観客数が制限され、なかなかスタジアムに足を運ぶことができません。

テレビ観戦では、「生」の熱気と雰囲気は感じられませんが、それでもスタジアム観戦と同じくらいの気持ちで応援しています。

新型コロナウイルス感染が収束し、試合や練習に行ける日が来るのを心待ちにしています。

かつては堀池、大榎、長谷川健太、澤登など地元出身の名選手が活躍したチームも最近の成績はいまひとつで気がかりです。

試合のたびに一喜一憂しながらも、きっと私たちの熱いエールが

届いて強豪チームになってくれると信じています。



千本浜公園にて



(門池)
土屋 貴則

平成3年に沼津市に転居し早や30年、シルバー人材センターに登録して5年目を迎えました。

入会時に希望した職群班の「千本公園清掃・草刈班」に入り、現在に至っています。

公園の管理業務は、主に草刈り、ごみや落下枝の回収、低木の剪定、草刈機のメンテナンスなどの作業を班員6名で行っています。

千本公園には、沼津ゆかりの文

人たちの歌碑や歴史にちなんだモニュメントが点在しています。

著名なのは、歌人若山牧水の「幾山河」の歌碑です。牧水は沼津から西伊豆に向かう途中に眺めた千本松原に心惹かれてこの地に永住しました。千本を愛した牧水は、松原の保全運動に関わったことがありと聞いたことがあります。

旧制沼津中学校で学んだ沼津市の名誉市民で文豪井上靖の文学碑には「千個の海のかげらが 千本の松の間に挟まっていた 少年の日 私は毎日それを 一つずつ食べて育った」と刻まれています。

さらに、沼津御用邸に行啓された折々に、千本浜から海を眺めた昭憲皇太后の歌碑と御座所跡の碑や、合戦により荒廃した松原に5年の歳月をかけて松苗を植えて再生させた恩人の増誉上人の像のほか、俳人の句碑などもあります。

また、公園に隣接する観音霊場長谷寺には、新撰組隊長岩崎一郎(南一郎)の墓や、沼津兵学校の校医頭だった医学者杉田玄端の墓碑などがあります。

真夏の暑さや冬の松林を吹き抜ける風の冷たさに閉口することもあります。鳥の声や木漏れ日の中の花から季節を感じます。

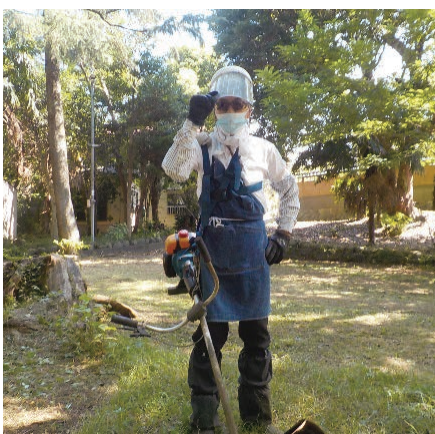
梅雨明けの酷暑の真最中にも、草刈り後に小鳥が餌をついばむ光景を見ると、涼風が吹き抜けるような爽やかな感じがします。

園内を散策する方から、「ご苦労さま、ありがたう。熱中症とコロナに気をつけてね。」と声を掛けられます。有り難いことです。故人を偲び、この環境で仕事ができることにやりがいと満足感を感じています。

昔から多くの人々から愛された千本浜の自然を守りたいと願い、職群班一同頑張っています。

気心が知れたメンバーは元氣とチームワークの良さが自慢です。毎年の一泊旅行も楽しみです。

これからも健康と安全に注意して仕事を続けていきたいと思っています。



新会員の紹介 (入会～9月15日まで) (○の番号は班番号)

- 2 第二地区 ①高木セザル ③斎藤 正孝
- 3 第三東地区 ②岡内 和子 ③川口 和寿
- 4 第三西・我入道地区 ②塩田 悦子
- 5 第四地区 ③鈴木美奈子
- 7 開北地区 ②芹澤ひさえ ④稲垣 雅子
- 9 片浜西地区 ③櫻井 実
- 10 今沢地区 ②溝口千恵子 ⑤石原 雅子
- 11 門池地区 ③伊藤 朝光 ④杉山十六年 ⑤峯松 幸子
- 13 金岡西地区 ①今井 和好 ②藤原 和浩
- 15 大岡中地区 ④加地るみ子
- 16 大岡南地区 ②青島 昭広 ②植松 幸雄 ④佐藤 邦夫
- 18 愛鷹東地区 ④大藤 光芳 ④坂井 俊勝
- 21 三浦地区 ②佐藤 弘行
- 22 原東地区 ③井上 口ヘリオ
- 23 原西地区 ④岩下 眞澄 ④米山 浩子 ④渡邊 由廣

センターからのお知らせ

☆「ホームページ」に「会員向け就業情報」を掲載

発注者から依頼された仕事の情報をホームページのトップページ「お知らせ」、「会員向け就業情報」に掲載しています。

仕事を希望している方や、どんな仕事があるのかを知りたい方がご覧下さい。希望の仕事が見つかった方や詳しい内容を聞きたい方はセンターにお問合せください。○ホームページに関するご意見、ご要望をお寄せください。

☆「ぬまづシルバーまつり」は中止します

今秋予定していました第8回「ぬまづシルバーまつり」は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止します。

新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止に努めましょう。
・現在、新型コロナウイルスの特效薬やワクチンはありません。
・風邪やインフルエンザが流行する季節に備えて「新しい生活様式」を続けるとともに、日頃の体調管理に注意しましょう。

新規会員大募集!

人生100年時代、70歳ではまだまだ現役、余力があります。働くことを通じて生きがいの充実を図れる
シルバー人材センターの仲間になりませんか?

入会の条件は、市内に在住する60歳以上で、健康で働く意欲があり、センターの趣旨に賛同された方。

入会するには、月1回の入会説明会に出席が必要です。事前に沼津市シルバー人材センター ☎964-1153へお電話ください。

入会説明会 11月16日、12月15日、1月15日・・・

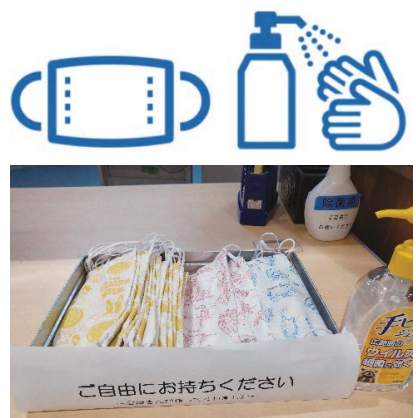
女性会員大歓迎! 地域が貴女を必要としています。

請負・委任のほか「シルバー派遣業務」もあります。

- 事業所のほかの従業員と同様、発注者の指揮命令の下で就業します。
- 業務中や通勤途上の災害で負傷した場合には、労災が適用されます。
- 厚労省の定める最低賃金の適用を受けます。(静岡県では885円/時間)

- 工場内軽作業
- 加工・組み立て
- 受付・一般事務
- 商品管理・品出し
- レジ打ち・接客 他

公益社団法人沼津市シルバー人材センター
〒410-0867 沼津市本字千本1910-206 千本プラザ内



☆会員手作りの布マスクを配布
会員の小林美智子さん(植田)から寄贈された「手作り布マスク」40枚を、会員はじめ希望者に配布させていただきました。

☆同好会会員募集!
□NSC将棋同好会

将棋で前頭葉を刺激し頭の老化防止。トーナメント戦(月2回)、クラウン戦(年2回)開催。

年会費 1000円
連絡先 橋本和男(☎0900-1824-9180)

○ゴルフ同好会(銀友会)
ゴルフで運動不足とストレスを解消。新沼津CCでコンペ開催(年4回)。女性会員大歓迎。
年会費 1000円
連絡先 佐藤 勝(☎0900-8676-13545)